

# つながりさがし



## 解説

1つのキーワードから、学習がどんどん発展していく、ということが楽しく体験できるカリキュラムです。ポプラディアネットを初めてつかうときに、利用指導を兼ねながら行うと最適です。児童の個性がとても発揮され、楽しく盛り上がる授業となります。



## オープニング(5分)

今日はポプラディアネットで「つながりさがし」ということばをつなげていくゲームをします。

- レッスン内容を紹介する

あらかじめ、スタート地点となるキーワードを決めて、ワークシートの一番上の欄にもスタート:〇〇〇というように記入しておくといいいでしょう。ここでは「花火」を例にして手順を説明します。

- キーワードの決め方！  
児童のキーボードやマウスの操作に不安がある場合は「イネ」などの短い言葉を選ぶといいいでしょう。住んでいる市町村や都道府県もおすすめです



## ポプラディアネットの操作説明(15分)

まず、先生機で「花火」を検索し、項目を表示させます。検索して項目が表示されるまでの手順をプロジェクタや電子黒板、画面転送などで、見せながら行います。

- ポプラディアネットでの言葉の検索方法をデモンストレーションする

キーボードに不慣れな児童には、「キーボードをひらく」をおして画面上のキーボードをつかうと、マウス操作だけできることも示してあげてください

- 児童にはまだ自機を操作しないように伝える
- キーワードを入力して検索する

児童に自機を操作して、『花火』の項目を表示させます。

項目の解説を読んだり、メディアなどを見たり自由に操作してもらいます。

- 本文の冒頭にその言葉の定義（意味）が書かれていることを伝える

児童は自機の操作をやめ、『花火』の項目が表示されている状態にして、再び先生機に注目するように指示します。

ポプラディアネットは青い文字をクリックすると、必ずその言葉の項目にジャンプすることを例示してください。

- 青字をクリックしてジャンプする機能を見せる

画面左上に「おすすめ項目」というコーナーがあることを示してください。

- 「おすすめ項目」について説明する
- 「おすすめ項目」のうち1つをクリックしてみせる



「おすすめ項目」には、その項目を理解したあと、さらに関連して学ぶとよい項目が選ばれていることを説明します。

ワークシートを児童1人に1枚ずつ配布してください。

- ワークシートの左上の一番上の欄には事前に先生が選ばれた言葉をいれておきましょう。



## ゲームのルールを説明する(5分)

まず「つながりさがし」のルールの説明をします。

ルールは簡単です！

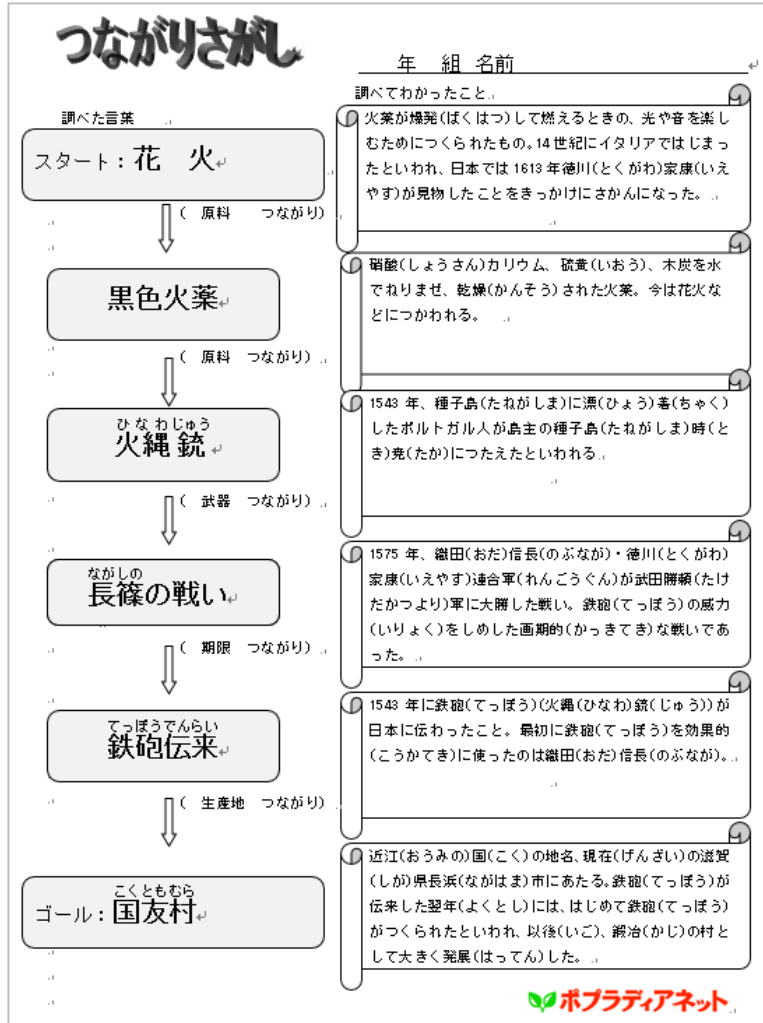
スタートは『花火』で、『花火』の「おすすめ項目」6つの中から、好きな言葉を1つ選びます。

次に選んだ言葉を、ワークシートの「調べた言葉」の「花火」の下の欄に書き入れます。

- ワークシートの記入方法を説明する

その言葉をクリックするとその言葉の項目にジャンプします。そこでまた、その項目の「おすすめ項目」6つの中から1つを選び、ジャンプ。これを5回繰り返します。これが基本です。

## 「つながりさがし」記入例



同じ言葉から始めても、選ぶ言葉によって最後のゴールの言葉は違うものになるはず。授業の最後にゴールの言葉を発表してもらうことを伝えましょう。児童の興味・関心、個性が現れ、発表はとて盛り上がります。

- 「調べてわかったこと」の記入については丸写しはさけ、定義や要約、興味をもったこと、わかったことなどを中心に書く



### 言葉を「関係」でつなげていく できたら、意味も調べてみる(15分)

まずは言葉をつなげていくことを伝えてください。

どんどん選んでいって、すぐに終わらせてしまう子。なかなか6つの中から1つの言葉を選べない子など、児童のスピードに差が生まれます。そのときは以下のオプションを説明し、進める子はどんどん作業をすすめるよう指示してください。

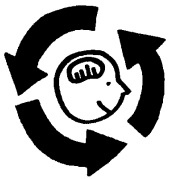
- 応用編：つながりを考えたり、そのつながりに名前をつける

この場合「黒色火薬」が「花火」の原料であるというつながりで、「原料つながり」としました

① 「調べた言葉」の項目を読んで「調べてわかったこと」を記入させる

② 1つ目と2つ目、2つ目と3つ目は、どうしてつながっているのか、その関連性を考え、「〇〇つながり」の欄の記入させる

② 上記の①②を終わらせた児童には、ワークシートの余白や裏面を使って6つ目以降を自由に進めさせる。



### まとめ～クラス発表をする(5分)

ゴールの言葉まで書くことができたなら、ポプラディアネットの画面右上にある「ログアウト」(ID版)または「おわる」(IP版)ボタンをクリックして、ログアウトしてください。

最後は発表です。

時間がなければ挙手で指名、時間があれば全員に、選んだ5つを順に発表してもらいましょう。

おそらく、全員違う言葉にたどりついていると思います。そのバリエーションに児童の個性があらわれ、とても楽しい発表になります。

発表が終わったら、この作業の意味を説明します。

1つ目と5つ目は、まったく関係ない言葉だと思えるが、1つ目と2つ目、2つ目と3つ目は、何か関係があって選ばれている、ということに気付かせてください。

1つの「調べ」が次の「調べ」を生み、どんどん調べ学習を発展させていくことができるようになるとよいですね。

□ ポプラディアネットからログアウトする

□ なるべく全員に発表してもらい 時間がなければ最後の言葉が何になったかを発表してもらう

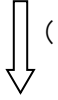
□ 選んだ言葉のつながりについて気付かせる、たくさんの言葉が出てきたこと、いろいろな発見があったことなどを伝える

# つながりさがし

年 組 名 前 \_\_\_\_\_

調べた言葉

スタート :



(

つながり)

Empty box for the first search result



(

つながり)

Empty box for the second search result



(

つながり)

Empty box for the third search result



(

つながり)

Empty box for the fourth search result



(

つながり)

ゴール :

調べてわかったこと

Empty box for the first note

Empty box for the second note

Empty box for the third note

Empty box for the fourth note

Empty box for the fifth note

Empty box for the sixth note

# つながりさがし

年 組 名前

調べた言葉

スタート：花 火

( 原料 つながり)

黒色火薬

( 原料 つながり)

ひなわじゅう  
火縄銃

( 武器 つながり)

ながしの  
長篠の戦い

( 期限 つながり)

てっぽうでんらい  
鉄砲伝来

( 生産地 つながり)

こくともむら  
ゴール：国友村

調べてわかったこと

火薬が爆発(ばくはつ)して燃えるときの、光や音を楽しむためにつくられたもの。14世紀にイタリアではじまったといわれ、日本では1613年徳川(とくがわ)家康(いえやす)が見物したことをきっかけにさかんになった。

硝酸(しょうさん)カリウム、硫黄(いおう)、木炭を水でねりませ、乾燥(かんそう)された火薬。今は花火などにつかわれる。

1543年、種子島(たねがしま)に漂(ひょう)着(ちゃく)したポルトガル人が島主の種子島(たねがしま)時(とき)堯(たか)につたえたといわれる

1575年、織田(おだ)信長(のぶなが)・徳川(とくがわ)家康(いえやす)連合軍(れんごうぐん)が武田勝頼(たけだかつより)軍に大勝した戦い。鉄砲(てっぽう)の威力(いりょく)をしめした画期的(かっきてき)な戦いであった。

1543年に鉄砲(てっぽう)(火縄(ひなわ)銃(じゅう))が日本に伝わったこと。最初に鉄砲(てっぽう)を効果的(こうかてき)に使ったのは織田(おだ)信長(のぶなが)。

近江(おうみの)国(こく)の地名、現在(げんざい)の滋賀(しが)県長浜(ながはま)市にあたる。鉄砲(てっぽう)が伝来した翌年(よくとし)には、はじめて鉄砲(てっぽう)がつくられたといわれ、以後(いご)、鍛冶(かじ)の村として大きく発展(はってん)した。